

内野中だより

平成30年度 第5号
新潟市立内野中学校
電話 262-3161
在校生徒数
1年生 214名
2年生 208名
3年生 201名
計 623名
(11月20日現在)

輝瞳祭を終えて

「みんなちがってみんないい！」

梅山 洋子

輝瞳祭の最後に話をさせて頂いたとき、金子みずすさんの有名なこのフレーズを引用しました。放課後の合唱練習が始まり、体育館練習や教室での練習に立ち会う私の中で、この言葉がいつの間にか鳴り始めていました。十八学級がそれぞれに違う曲を選び、違うメンバーで歌う合唱。

みんな、違う魅力を持っていて「いいなあ」と思いました。本番もきつと「みんないいんだらうな・・・」と確信できる雰囲気在校舎に響いていました。そして、その通りになりました。

一年生の物怖じしないパワー溢れる歌声。深みを増した豊かなハーモニーが素敵だった二年生。

そして「さすが！三年生」と皆が納得した三年生の合唱には三年目の成長が映し出されていて、ひと言では表現できない感動がありました。

全ての発表が終わり、代表で話をした副実行委員長の言葉からも素直な感想が述べられ、りゅーとぴあの会場に響き渡る校歌で締めくくられた今年の輝瞳祭は「平成最後」にふさわしい、爽やかな合唱祭になりました。

どのクラスの合唱もみんな違って、みんな良かったです。今年も幸せな時間がありました。

心はユニゾン～輝け平成最後のハーモニー～

輝瞳祭の感想



一年六組

僕たちのクラスは、「怪獣のバラード」という曲を歌いました。ぼくは指揮者でした。この曲は、とてもテンポが速く、伴奏もとても難しい曲でした。指揮も速くしないといけないため、とても大変でした。

始めたころは、まだみんな音程がズレていたり、ふざける人がいたり、大変でした。何回も「この曲はやめたい」と思ったりもしました。しだいにみんな音程がとれてきて、ふざける人も少なくなりましたが、まだふざける人もいました。どうすればうまくいくのか、と毎日考えました。

そして当日。学校での最後の練習でとてもいい合唱になりました。本番は少しうまくいかなかったところもあったけれども、無事にうまく歌いことができました。

ここまでできたのは、様々なことを考えてくれた実行委員、難しいけれどがんばってくれた伴奏者、教えてくれた先生方、そして頑張ってくれたクラスのおみなのおかげです。そんなみんなに感謝したいです。

輝瞳祭の感想 ♪



二年二組

私は今年度、実行委員をしました。二年二組は「キミのもとへ…」を歌うということなのでクラス目標は「響かせようキミのもとへ…」でした。

最初は男子の集中力がなく、まとめるのは大変でしたが、みんなで呼びかけをしていくうちにクラスが一体となって練習をすることができました。前日に、男子の強弱をつける練習をしたことで女子のきれいなハーモニーが聞こえ、当日はクラス目標を達成することができたと思います。

一年生の合唱はクラスそれぞれの個性が出ていてよかったです。三年生の合唱は歌詞にのって感情が届いていて、全クラスとても感動する合唱でした。

今年度の輝瞳祭は、それぞれのクラスの個性が歌にのり、りゅーとびあで響いていました。練習はとても大変でしたが、それを乗り越えて二年二組らしい「キミのもとへ…」を歌うことができてよかったです。

協力してくれた二年二組のみんな、ありがとうございました。

三年五組

僕たちは「あなたへ」旅立ちに寄せるメッセージ」という曲を歌いました。この曲は未来というまだ見ぬ世界へ旅立っていく中で不安や悩みを抱えている人へ送るメッセージがこめられています。

僕たちのクラスは、この曲で「担任である小野先生を泣かせよう」というのをモットーにがんばりました。始めたばかりの頃は、だいたいの方がびびって声が出ていませんでした。

でも、日々の練習や実行委員と指揮者のアドバイスのにより、各々が大きな声で歌えるようになりました。また、合唱交流会時の長井先生の喝が我々の荒んだ心に刺さり、歌う時の姿勢や態度がよくなっていききました。

そのおかげで当日は先生方から「とり」にふさわしい素晴らしい合唱だったという声も聞くことができました。小野先生が急病でお休みになり、りゅーとびあで三・五のきれいなハーモニーを聞かせてあげることができなかつたことが少し残念でしたが、後日僕らの歌声を聞かせてあげることができたのでよかったです。



10月、11月の活動



10月5日 新人戦



10月11日 新人戦報告会



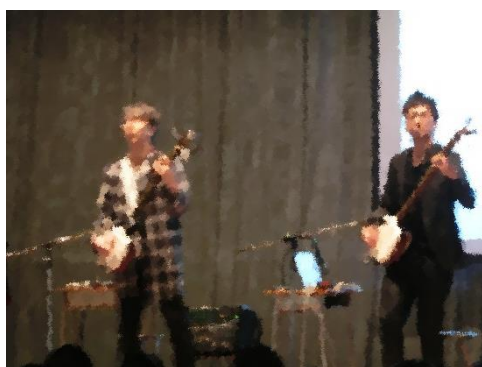
10月16日 地区駅伝



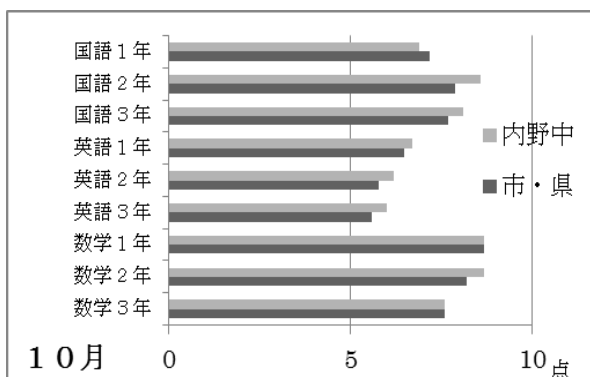
10月19日 輝瞳祭



10月25日 薬物乱用防止教室



11月9日 fumiyesi さん講演会



10月配信テスト結果
 一年生の国語で県平均をわずかに下回りました。特に「応対」「補う」の漢字の書き取り、一文抜き出しの問題で正答率が低かったです。日頃の学習への取組を充実させましよう。それ以外は全て県・市平均と同じか、上回る結果になりました。十一月配信テスト実施済みです。結果は次号でお知らせします。

学習について